



平成 22 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 大野 利美知
(J A S D A Q ・ コード番号 2796)
問合せ先 常務取締役 村上 典夫
(TEL 03-3362-7130)

(訂正・数値データ訂正有り) 「平成 22 年 5 月期第 1 四半期決算短信」の一部訂正について

当社では、平成 22 年 6 月 8 日付「不適切な取引に関するお知らせ」及び平成 22 年 6 月 28 日付「不適切な取引に関する調査結果について」にて開示いたしました通り、元役員により循環的に売上高が計上されていた問題が判明したことを受け、過年度 3 期間（平成 19 年 5 月期、平成 20 年 5 月期、平成 21 年 5 月期）の決算訂正の作業を進めてまいりました。今般、過年度決算の具体的な訂正内容が確定いたしましたので、下記の通りご報告申し上げます。

なお、訂正箇所が多岐にわたっており正誤表による形式では分かりづらくなることから、訂正後と訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

また、訂正後の数値データにつきましても提出しております。

記

訂正を行う決算短信の概要

決算期 : 平成 22 年 5 月期第 1 四半期（平成 21 年 6 月～平成 21 年 8 月）

公表日 : 平成 21 年 10 月 14 日

以上

<訂正後>

平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年10月14日

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 2796 URL <http://www.pharmarise.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 利美知
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業本部長 (氏名) 村上 典夫 TEL 03-3362-7130
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績 (平成21年6月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第1四半期	5,248	10.8	125	153.9	90	273.3	40	713.8
21年5月期第1四半期	4,736	—	49	—	24	—	5	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第1四半期	5,735 47	—
21年5月期第1四半期	702 67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第1四半期	10,307	1,666	15.9	230,386 88
21年5月期	10,279	1,664	16.0	230,137 05

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 1,643百万円 21年5月期 1,641百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	0 00	—	6,000 00	6,000 00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期(予想)	—	0 00	—	2,000 00	2,000 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

22年5月期(予想)の1株あたり配当金につきましては、平成21年9月15日付け公表の「株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」の通り、平成21年11月30日を基準日とし1株を3株とする株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成22年5月期の連結業績予想 (平成21年6月1日～平成22年5月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	10,261	6.1	265	80.4	197	128.5	68	69.8	3,181 62
通 期	21,200	6.0	627	16.6	493	21.6	206	△6.3	9,669 38

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。22年5月期の業績予想における1株当り当期純利益は、当該株式分割を考慮しております。

平成21年9月に子会社の異動(株式会社三和調剤及び株式会社ハイレンメディカルの連結子会社化)が発生いたしました。これらが連結業績に与える影響につきましては現在精査中でありますので、確定次第お知らせいたします。

<訂正後>

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
 新規 一社（社名 ） 除外 一社（社名 ） : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 （注）詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
 ② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------|-------------|--------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 22年5月期第1四半期 | 7,155株 | 21年5月期 | 7,155株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年5月期第1四半期 | 21株 | 21年5月期 | 21株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 22年5月期第1四半期 | 7,134株 | 21年5月期第1四半期 | 7,155株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

<訂正後>

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成21年6月1日～平成21年8月31日)の我が国の経済は、積極的な財政出動と中国・インドをはじめとする新興国の需要回復等により、最悪期からは脱したものの、今後の見通しについては引き続き不透明な状況にあります。特に本年8月30日に実施された衆議院選挙において民主党が大勝し、政権交代が実現したことにより国家政策の枠組みが大きく変更されることが予想されます。

当社グループが属する調剤薬局業界におきましても、本年6月1日より改正薬事法が施行され、OTC医薬品(一般用医薬品、大衆薬)の3分類化と登録販売者制度の設置が行われました。これにより調剤チェーンにドラッグストアやコンビニエンスストア、大手小売業等も加えて今後の市場動向を見据えての提携や再編が活発化しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は堅調に推移し、売上高は5,248百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益は125百万円(同153.9%増)、経常利益は90百万円(同273.3%増)、四半期純利益は40百万円(同713.8%増)となりました。薬価改定の影響を受けた前年同期の水準を大きく上回り、現状までほぼ計画通りに推移しております。また、当社は当連結会計年度より持株会社体制に移行いたしました。これに伴い当第1四半期連結累計期間においてはグループ会社の組織変更や人事異動を積極的に行い、グループ全体の機能強化と活性化を促すよう取り組んでまいりました。さらに、持株会社となった当社はグループ力の強化と拡大を重要な使命と位置付け、M&Aにも積極的に取り組んでまいりました。事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

(調剤薬局事業)

当第1四半期連結累計期間において当社グループが運営する調剤薬局店舗数は126店舗であります。当第1四半期連結累計期間における新規出店はありませんでした。調剤薬局事業に関する事業提携やM&Aに関する動きを活発に行ってまいりました。本年6月29日には新世薬品株式会社(本社:兵庫県淡路市)、本年7月27日には株式会社カワモト(本社:岡山県津山市)と資本業務提携の基本合意を行い、現在も基本契約に向けて交渉を進めております。さらに、本年9月11日には、持分法適用関連会社であった株式会社三和調剤(本社:東京都武蔵野市)と2回目の「資本業務提携に関する基本契約」を締結し連結子会社化(持分割合51.2%)することで合意いたしました。また、本年9月30日には株式会社ハイレンメディカル(本社:北海道伊達市)の株式を取得し完全子会社化しております。

薬局運営面につきましては、これまで重点的施策として取り組んでまいりました地域医療(在宅医療や施設調剤等)の拡大や後発医薬品の推奨品整備に加えて、OTC医薬品の販売拡大に向けた施策にも着手しております。これらの取り組みの具体的な成果は、今後の業績に対し確実に反映されてくるものと考えております。

これらの結果、売上高は5,180百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益は193百万円(前年同期比212.3%増)となりました。

(その他事業)

その他事業の内容は、当社が運営する処方データビジネス事業と完全子会社である株式会社ふじい薬局が運営する調剤薬局店舗以外の店舗における化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸販売であります。その他事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は68百万円(前年同期比2.6%減)、営業損失は14百万円となりました。

<訂正後>

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は10,307百万円となり、前連結会計年度末残高10,279百万円に対し、27百万円増加しました。この主な要因は、前連結会計年度までの新規店舗の開局、営業譲受による店舗の増加に伴い、売掛金の残高が1,218百万円となり前連結会計年度末残高1,165百万円に対し53百万円増加し、たな卸資産の残高が805百万円となり前連結会計年度末残高727百万円に対し78百万円増加したこと、無形固定資産の残高が810百万円となり、前連結会計年度末残高864百万円に対し53百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は8,641百万円となり、前連結会計年度末残高8,615百万円に対し25百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の残高が3,756百万円となり、前連結会計年度末残高3,433百万円に対し323百万円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計残高が3,838百万円となり、前連結会計年度末残高4,122百万円に対し284百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,666百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績予想につきましては、新卒薬剤師の人件費負担や新設会社分割による持株会社体制への移行に係る経費負担の増加等の要因を見込んでいましたが、売上高・利益とも前年同期の水準を大きく上回り、概ね当初の計画通りに進捗しております。

なお、当社は平成21年9月11日付「業務・資本提携（第三者割当増資引受け）及びそれに伴う子会社の異動に関するお知らせ」のとおり、株式会社三和調剤を連結子会社化し、また、平成21年9月30日付「株式会社ハイレンメディカル株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」のとおり、株式会社ハイレンメディカルの全株式を取得して完全子会社といたしております。これらの要因が今期の業績予想に与える影響は現在精査中でありますので、確定次第お知らせいたします。

<訂正後>

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

<訂正後>

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,012,469	2,152,044
売掛金	1,218,782	1,165,463
商品	769,604	693,035
未収入金	910,230	891,108
その他	281,814	197,796
貸倒引当金	△8,406	△6,747
流動資産合計	<u>5,184,494</u>	<u>5,092,701</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,598,562	1,629,694
土地	1,455,224	1,455,224
その他(純額)	192,421	164,163
有形固定資産合計	<u>3,246,207</u>	<u>3,249,082</u>
無形固定資産		
のれん	477,511	501,964
ソフトウェア	308,204	337,104
その他	24,885	24,984
無形固定資産合計	<u>810,601</u>	<u>864,054</u>
投資その他の資産		
差入保証金	581,139	584,761
その他	495,487	499,658
貸倒引当金	△11,533	△11,883
投資その他の資産合計	<u>1,065,094</u>	<u>1,072,536</u>
固定資産合計	<u>5,121,903</u>	<u>5,185,672</u>
繰延資産		
株式交付費	934	1,490
繰延資産合計	<u>934</u>	<u>1,490</u>
資産合計	<u>10,307,332</u>	<u>10,279,865</u>

<訂正後>

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,756,590	3,433,087
短期借入金	460,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,428,406	1,539,308
未払法人税等	42,900	118,517
賞与引当金	96,510	—
その他	<u>262,760</u>	<u>457,722</u>
流動負債合計	<u>6,047,167</u>	<u>5,848,635</u>
固定負債		
長期借入金	2,410,406	2,583,668
退職給付引当金	130,247	125,964
その他	53,275	57,120
固定負債合計	<u>2,593,929</u>	<u>2,766,752</u>
負債合計	<u>8,641,097</u>	<u>8,615,388</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,075	580,075
資本剰余金	527,376	527,376
利益剰余金	<u>527,691</u>	<u>529,578</u>
自己株式	△2,430	△2,430
株主資本合計	<u>1,632,712</u>	<u>1,634,599</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,867	7,198
評価・換算差額等合計	<u>10,867</u>	<u>7,198</u>
少数株主持分	22,654	22,679
純資産合計	<u>1,666,234</u>	<u>1,664,476</u>
負債純資産合計	<u>10,307,332</u>	<u>10,279,865</u>

<訂正後>

(2) 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
売上高	4,736,080	5,248,644
売上原価	4,222,748	4,595,024
売上総利益	513,331	653,620
販売費及び一般管理費	463,706	527,632
営業利益	49,624	125,987
営業外収益		
受取利息	2,152	1,351
受取配当金	222	211
受取賃貸料	1,341	2,682
その他	1,582	720
営業外収益合計	5,298	4,966
営業外費用		
支払利息	21,082	19,615
持分法による投資損失	—	3,554
休止固定資産費用	—	12,279
その他	9,670	5,286
営業外費用合計	30,753	40,735
経常利益	24,169	90,219
特別利益		
貸倒引当金戻入額	21,155	—
特別利益合計	21,155	—
税金等調整前四半期純利益	45,324	90,219
法人税等	39,905	48,976
少数株主利益	391	325
四半期純利益	5,027	40,916

<訂正後>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年6月1日 至平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	45,324	90,219
減価償却費	62,322	70,445
のれん償却額	26,191	24,453
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20,428	1,309
賞与引当金の増減額 (△は減少)	87,070	96,510
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,294	4,283
受取利息及び受取配当金	△2,374	△1,562
支払利息	21,082	19,615
持分法による投資損益 (△は益)	—	3,554
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,825	△73,039
たな卸資産の増減額 (△は増加)	102,191	△78,070
仕入債務の増減額 (△は減少)	333,921	323,912
その他	△124,375	△224,774
小計	526,394	256,856
利息及び配当金の受取額	1,478	573
利息の支払額	△19,859	△21,995
法人税等の支払額	△81,067	△119,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	426,945	116,281
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,550	△950
定期預金の払戻による収入	10,500	1,000
有形固定資産の取得による支出	△385,447	△16,987
無形固定資産の取得による支出	△7,670	△273
投資有価証券の取得による支出	△8,000	—
差入保証金の差入による支出	△1,814	△314
差入保証金の回収による収入	6,982	4,540
貸付けによる支出	△10,658	△66,000
貸付金の回収による収入	13,900	—
営業譲受による支出	△9,633	—
その他	△6,596	△5,389
投資活動によるキャッシュ・フロー	△399,986	△84,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	160,000
長期借入れによる収入	500,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△305,402	△484,164
リース債務の返済による支出	△3,659	△4,165
配当金の支払額	△42,930	△42,804
少数株主への配当金の支払額	△350	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,658	△171,483
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	74,618	△139,575
現金及び現金同等物の期首残高	1,443,062	1,921,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,517,680	1,781,651

<訂正後>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

該当事項はありません。

<訂正後>

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

	調剤薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,666,000	70,079	4,736,080	—	4,736,080
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,666,000	70,079	4,736,080	—	4,736,080
営業利益又は営業損失(△)	61,952	△12,328	49,624	—	49,624

(注) 1 事業の区分の方法

事業は市場の類似性に基づき区分しております。

2 調剤薬局事業・・・調剤薬局の経営

その他事業・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

3 前連結会計年度まで区分掲記しておりました「処方データビジネス事業」は、重要性がなくなったため、第1四半期連結会計期間より「その他事業」に含めることといたしました。

なお、当第1四半期連結会計期間における処方データビジネス事業の売上高は二千円、営業利益は10,639千円であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

	調剤薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,180,383	68,261	5,248,644	—	5,248,644
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,180,383	68,261	5,248,644	—	5,248,644
営業利益又は営業損失(△)	193,478	△14,511	178,966	(52,978)	125,987

(注) 1 事業の区分の方法

事業は市場の類似性に基づき区分しております。

2 調剤薬局事業・・・調剤薬局の経営

その他事業・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

<訂正後>

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）において海外売上高はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）において海外売上高はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

該当事項はありません。

<訂正前>

平成22年5月期 第1四半期決算短信

平成21年10月14日

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 2796 URL <http://www.pharmarise.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 利美知
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業本部長 (氏名) 村上 典夫 TEL 03-3362-7130
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月15日 配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年5月期第1四半期の連結業績 (平成21年6月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第1四半期	5,248	10.5	124	119.3	88	183.8	39	225.0
21年5月期第1四半期	4,749	—	56	—	31	—	12	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第1四半期	5,533 97	—
21年5月期第1四半期	1,697 66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第1四半期	10,361	1,720	16.4	237,996 67
21年5月期	10,335	1,720	16.4	237,948 33

(参考) 自己資本 22年5月期第1四半期 1,697百万円 21年5月期 1,697百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	0 00	—	6,000 00	6,000 00
22年5月期	—	—	—	—	—
22年5月期(予想)	—	0 00	—	2,000 00	2,000 00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無: 無

22年5月期(予想)の1株あたり配当金につきましては、平成21年9月15日付け公表の「株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」の通り、平成21年11月30日を基準日とし1株を3株とする株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成22年5月期の連結業績予想 (平成21年6月1日～平成22年5月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	10,261	6.0	265	74.5	197	116.3	67	51.0	3,181 62
通 期	21,200	6.0	627	16.2	493	21.1	206	△7.0	9,669 38

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無: 無

平成21年12月1日付にて普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割いたしました。22年5月期の業績予想における1株当り当期純利益は、当該株式分割を考慮しております。

平成21年9月に子会社の異動(株式会社三和調剤及び株式会社ハイレンメディカルの連結子会社化)が発生いたしました。これらが連結業績に与える影響につきましては現在精査中でありますので、確定次第お知らせいたします。

<訂正前>

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
 新規 一社（社名 ） 除外 一社（社名 ） : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 （注）詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
 ② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|----------------------|-------------|--------|-------------|--------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 22年5月期第1四半期 | 7,155株 | 21年5月期 | 7,155株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年5月期第1四半期 | 21株 | 21年5月期 | 21株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 22年5月期第1四半期 | 7,134株 | 21年5月期第1四半期 | 7,155株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

<訂正前>

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成21年6月1日～平成21年8月31日)の我が国の経済は、積極的な財政出動と中国・インドをはじめとする新興国の需要回復等により、最悪期からは脱したものの、今後の見通しについては引き続き不透明な状況にあります。特に本年8月30日に実施された衆議院選挙において民主党が大勝し、政権交代が実現したことにより国家政策の枠組みが大きく変更されることが予想されます。

当社グループが属する調剤薬局業界におきましても、本年6月1日より改正薬事法が施行され、OTC医薬品(一般用医薬品、大衆薬)の3分類化と登録販売者制度の設置が行われました。これにより調剤チェーンにドラッグストアやコンビニエンスストア、大手小売業等も加えて今後の市場動向を見据えての提携や再編が活発化しております。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は堅調に推移し、売上高は5,248百万円(前年同期比10.5%増)、営業利益は124百万円(同119.3%増)、経常利益は88百万円(同183.8%増)、四半期純利益は39百万円(同225.0%増)となりました。薬価改定の影響を受けた前年同期の水準を大きく上回り、現状までほぼ計画通りに推移しております。また、当社は当連結会計年度より持株会社体制に移行いたしました。これに伴い当第1四半期連結累計期間においてはグループ会社の組織変更や人事異動を積極的に行い、グループ全体の機能強化と活性化を促すよう取り組んでまいりました。さらに、持株会社となった当社はグループ力の強化と拡大を重要な使命と位置付け、M&Aにも積極的に取り組んでまいりました。事業の種類別セグメントの業績は次の通りであります。

(調剤薬局事業)

当第1四半期連結累計期間において当社グループが運営する調剤薬局店舗数は126店舗であります。当第1四半期連結累計期間における新規出店はありませんでした。調剤薬局事業に関する事業提携やM&Aに関する動きを活発に行ってまいりました。本年6月29日には新世薬品株式会社(本社:兵庫県淡路市)、本年7月27日には株式会社カワモト(本社:岡山県津山市)と資本業務提携の基本合意を行い、現在も基本契約に向けて交渉を進めております。さらに、本年9月11日には、持分法適用関連会社であった株式会社三和調剤(本社:東京都武蔵野市)と2回目の「資本業務提携に関する基本契約」を締結し連結子会社化(持分割合51.2%)することで合意いたしました。また、本年9月30日には株式会社ハイレンメディカル(本社:北海道伊達市)の株式を取得し完全子会社化しております。

薬局運営面につきましては、これまで重点的施策として取り組んでまいりました地域医療(在宅医療や施設調剤等)の拡大や後発医薬品の推奨品整備に加えて、OTC医薬品の販売拡大に向けた施策にも着手しております。これらの取り組みの具体的な成果は、今後の業績に対し確実に反映されてくるものと考えております。

これらの結果、売上高は5,180百万円(前年同期比11.0%増)、営業利益は192百万円(前年同期比225.1%増)となりました。

(その他事業)

その他事業の内容は、当社が運営する処方データビジネス事業と完全子会社である株式会社ふじい薬局が運営する調剤薬局店舗以外の店舗における化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸販売であります。その他事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は68百万円(前年同期比17.8%減)、営業損失は14百万円となりました。

<訂正前>

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は10,361百万円となり、前連結会計年度末残高10,335百万円に対し、26百万円増加しました。この主な要因は、前連結会計年度までの新規店舗の開局、営業譲受による店舗の増加に伴い、売掛金の残高が1,218百万円となり前連結会計年度末残高1,165百万円に対し53百万円増加し、たな卸資産の残高が805百万円となり前連結会計年度末残高727百万円に対し78百万円増加したこと、無形固定資産の残高が810百万円となり、前連結会計年度末残高864百万円に対し53百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は8,641百万円となり、前連結会計年度末残高8,615百万円に対し25百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の残高が3,756百万円となり、前連結会計年度末残高3,433百万円に対し323百万円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計残高が3,838百万円となり、前連結会計年度末残高4,122百万円に対し284百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,720百万円となり、前連結会計年度末残高とほぼ同額の結果となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績予想につきましては、新卒薬剤師の人件費負担や新設会社分割による持株会社体制への移行に係る経費負担の増加等の要因を見込んでいましたが、売上高・利益とも前年同期の水準を大きく上回り、概ね当初の計画通りに進捗しております。

なお、当社は平成21年9月11日付「業務・資本提携（第三者割当増資引受け）及びそれに伴う子会社の異動に関するお知らせ」のとおり、株式会社三和調剤を連結子会社化し、また、平成21年9月30日付「株式会社ハイレンメディカル株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」のとおり、株式会社ハイレンメディカルの全株式を取得して完全子会社といたしております。これらの要因が今期の業績予想に与える影響は現在精査中でありますので、確定次第お知らせいたします。

<訂正前>

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

<訂正前>

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,012,469	2,152,044
売掛金	1,218,782	1,165,463
商品	769,604	693,035
未収入金	910,230	891,108
その他	<u>280,420</u>	<u>196,402</u>
貸倒引当金	△8,406	△6,747
流動資産合計	<u>5,183,100</u>	<u>5,091,307</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,632,064	1,663,818
土地	<u>1,468,770</u>	<u>1,468,770</u>
その他(純額)	<u>229,767</u>	<u>202,324</u>
有形固定資産合計	<u>3,330,602</u>	<u>3,334,913</u>
無形固定資産		
のれん	477,511	501,964
ソフトウェア	308,204	337,104
その他	24,885	24,984
無形固定資産合計	<u>810,601</u>	<u>864,054</u>
投資その他の資産		
差入保証金	581,139	584,761
その他	<u>466,768</u>	<u>470,939</u>
貸倒引当金	△11,533	△11,883
投資その他の資産合計	<u>1,036,375</u>	<u>1,043,817</u>
固定資産合計	<u>5,177,579</u>	<u>5,242,785</u>
繰延資産		
株式交付費	934	1,490
繰延資産合計	<u>934</u>	<u>1,490</u>
資産合計	<u>10,361,613</u>	<u>10,335,584</u>

<訂正前>

(単位：千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,756,590	3,433,087
短期借入金	460,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,428,406	1,539,308
未払法人税等	42,900	118,517
賞与引当金	96,510	—
その他	262,754	457,715
流動負債合計	<u>6,047,161</u>	<u>5,848,629</u>
固定負債		
長期借入金	2,410,406	2,583,668
退職給付引当金	130,247	125,964
その他	53,275	57,120
固定負債合計	<u>2,593,929</u>	<u>2,766,752</u>
負債合計	<u>8,641,090</u>	<u>8,615,381</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,075	580,075
資本剰余金	527,376	527,376
利益剰余金	581,979	585,304
自己株式	△2,430	△2,430
株主資本合計	<u>1,687,000</u>	<u>1,690,325</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,867	7,198
評価・換算差額等合計	<u>10,867</u>	<u>7,198</u>
少数株主持分	22,654	22,679
純資産合計	<u>1,720,523</u>	<u>1,720,202</u>
負債純資産合計	<u>10,361,613</u>	<u>10,335,584</u>

<訂正前>

(2) 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)
売上高	4,749,080	5,248,644
売上原価	4,224,484	4,596,461
売上総利益	524,595	652,183
販売費及び一般管理費	467,790	527,632
営業利益	56,804	124,550
営業外収益		
受取利息	2,152	1,351
受取配当金	222	211
受取賃貸料	1,341	2,682
その他	1,521	720
営業外収益合計	5,237	4,966
営業外費用		
支払利息	21,082	19,615
持分法による投資損失	—	3,554
休止固定資産費用	—	12,279
その他	9,670	5,286
営業外費用合計	30,753	40,735
経常利益	31,288	88,781
特別利益		
貸倒引当金戻入額	21,155	—
特別利益合計	21,155	—
税金等調整前四半期純利益	52,443	88,781
法人税等	39,905	48,976
少数株主利益	391	325
四半期純利益	12,146	39,479

<訂正前>

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	52,443	88,781
減価償却費	64,058	71,883
のれん償却額	26,191	24,453
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20,428	1,309
賞与引当金の増減額 (△は減少)	87,070	96,510
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,294	4,283
受取利息及び受取配当金	△2,374	△1,562
支払利息	21,082	19,615
持分法による投資損益 (△は益)	—	3,554
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,825	△73,039
たな卸資産の増減額 (△は増加)	102,191	△78,070
仕入債務の増減額 (△は減少)	333,921	323,912
その他	△124,278	△224,774
小計	535,346	256,856
利息及び配当金の受取額	1,478	573
利息の支払額	△19,859	△21,995
法人税等の支払額	△81,067	△119,152
営業活動によるキャッシュ・フロー	435,897	116,281
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,550	△950
定期預金の払戻による収入	10,500	1,000
有形固定資産の取得による支出	△391,407	△16,987
無形固定資産の取得による支出	△7,670	△273
投資有価証券の取得による支出	△8,000	—
差入保証金の差入による支出	△1,814	△314
差入保証金の回収による収入	6,982	4,540
貸付けによる支出	—	△66,000
営業譲受による支出	△9,633	—
その他	△6,346	△5,389
投資活動によるキャッシュ・フロー	△408,938	△84,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	160,000
長期借入れによる収入	500,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△305,402	△484,164
リース債務の返済による支出	△3,659	△4,165
配当金の支払額	△42,930	△42,804
少数株主への配当金の支払額	△350	△350
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,658	△171,483
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	74,618	△139,575
現金及び現金同等物の期首残高	1,443,062	1,921,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,517,680	1,781,651

<訂正前>

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

該当事項はありません。

<訂正前>

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

	調剤薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,666,000	83,079	4,749,080	—	4,749,080
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,666,000	83,079	4,749,080	—	4,749,080
営業利益又は営業損失(△)	59,064	△2,259	56,804	—	56,804

(注) 1 事業の区分の方法

事業は市場の類似性に基づき区分しております。

2 調剤薬局事業・・・調剤薬局の経営

その他事業・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

3 前連結会計年度まで区分掲記しておりました「処方データビジネス事業」は、重要性がなくなったため、第1四半期連結会計期間より「その他事業」に含めることといたしました。

なお、当第1四半期連結会計期間における処方データビジネス事業の売上高は13,000千円、営業利益は1,168千円であります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

	調剤薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	5,180,383	68,261	5,248,644	—	5,248,644
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,180,383	68,261	5,248,644	—	5,248,644
営業利益又は営業損失(△)	192,040	△14,511	177,529	△52,978	124,550

(注) 1 事業の区分の方法

事業は市場の類似性に基づき区分しております。

2 調剤薬局事業・・・調剤薬局の経営

その他事業・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

<訂正前>

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）において海外売上高はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）において海外売上高はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）

該当事項はありません。